

(株)有機・産業からの提案

防疫的対策と鶏の「**免疫力**」を最大限に上げる事で、**インフルエンザ発症を抑制**できる鶏を普段から育成し、インフルエンザの蔓延を防ぎ、罹患しても免疫力向上による治癒が期待できる方策。

抗ウイルス活性の高い鶏の育成

- (1) **グルメアクション（抗ウイルス活性物質）を飼料に0.3%混入させて経口投与し、腸内活性を増進させて免疫力を向上させて、鳥インフルエンザウイルスを減少させ、感染拡大を防止**
- (2) **高濃度水素酸素水の飲食**
高濃度水素酸素ナノバブル水を飲水させ 腸内細菌の善玉菌を増やして免疫力を上げる。
- (3) カラス・野鳥撃退ネットの設置
- (4) 亜塩素酸ナトリウムによる消毒
- (5) バイオ炭による糞尿処理

防止対策

鶏糞の有効活用
鶏糞→有機堆肥の生産
鶏糞→バイオ炭の製造 → 敷き藁

国による対応

家さんでの高病原性鳥インフルエンザ発生道県から、家さん農場において緊急消毒を実施中。

- 緊急消毒
- 地域一体となった防疫の取組に対する支援
- 農場における飼養衛生管理基準の遵守の徹底に対する理解と教育

高病原性鳥インフルエンザの発生を防止

- (1) 人・車輛等による侵入の防止
- (2) 野鳥・野生動物による侵入の防止
- (3) 飲用水・飼料の汚染による侵入の防止
- (4) 鶏舎内外の整理・整頓・清掃
- (5) 鶏の健康管理及び取扱い
- (6) 鶏糞の処理
- (7) 鳥インフルエンザに対する理解と教育

鳥インフルエンザ活性について

ワクチンは、ウイルスの抗原変異の出現といったちごっこである。既に開発されている抗ウイルス薬は、**対象感染症 が限定されている**上に、**副作用や薬剤耐性ウイルスの出現や経済的負担の増大**が懸念される。



鳥インフルエンザウイルスは腸管内で増殖するウイルスであるので、腸内活性を高める方策で**免疫力を上げる**。



グルメアクション（抗ウイルス活性物質）を飼料に0.3%（餌1.0tに対して3kg）を添加する。混入させて経口投与し、腸内活性を増進させて免疫力を向上させて、鳥インフルエンザウイルスを減少させ、感染拡大を防止することによって、**鳥インフルエンザ蔓延を防止**する方策である。

高濃度水素酸素ナノバブル水を飲水させる事により、腸内細菌の善玉菌を増やして免疫力を上げ、免疫力低下や鶏の老化の原因となる悪玉活性酸素（ヒドロキシルラジカル）の選択的除去による効果が期待させる。

グルメアクションの期待される効果

1. 鳥インフルエンザ蔓延防止
2. 飼育中の死亡率激減通常の1/3～1/10
3. 飼育期間の短縮 1～2割鶏卵産卵期間の延長 1～2割
4. 肉質の向上 高品質率の向上
5. 糞尿公害、住民のクレーム低減

抗ウイルス活性の高い鶏の育成



従来の餌にグルメアクションを0.3%混入して与える

中部大学 生命健康科学部と研究開発

- ★中部大学 生命健康科学部 ウイルス感染症に対する天然素材の作用に関する共同研究の取組
- ★鳥インフルエンザを不活性化できる物質の探索と実地利用に向けた有効性の確立と製品化に向けた取組
- ★有機肥料で飼育した牛、豚、鶏、競走馬の糞尿の分析 堆肥の分析 堆肥の炭化品の分析
- ★上記の製品を飼料として育てた牛肉、豚肉、鶏肉、卵の分析
- ★ウイルス感染症に対する天然素材の作用に関する共同研究
- ★不活性化できる物質の探索と実地利用に向けた有効性の確立と販売に向けた取組
- ★有機肥料で飼育した牛、豚、鶏、競走馬の糞尿の分析 堆肥の分析 堆肥の炭化品の分析
- ★上記の製品を飼料として育てた牛肉、豚肉、鶏肉、卵の分析
- ★共同特許出願

ウイルス感染症に対する天然素材の作用に関する研究

2 研究期間 2022 年 7 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

3 研究費 5,000,000 円 (奨学寄附金)

中部大学 生命保険学部との共同研究
ウイルス感染症に対する天然素材の作用に関する研究

トリインフルエンザウイルス感染実験

実験機関：中部大学

ウイルス株：A型インフルエンザウイルス(H5N3亜型 弱毒性)

投与サンプル：グルメアクション (株)有機・産業製

実験体：BALB/cマウス (雌6週齢)

サンプル群 A群 5匹 感染後ウイルス量の測定

サンプル群 B群 5匹 中和抗体価の測定

- 実験方法
- ① ウイルス感染の7日前から感染後14日までの間、グルメアクションを1日2回(午前9時、午後6時)の経口投与する。
 - ② ウイルス感染は、マウスに麻酔下で経鼻接種する。
 - ③ 感染3日後にマウスの肺からウイルス量を測定する。
 - ④ 感染14日後のマウスから気管支洗浄液及び血清の中和抗体価を測定する。

測定結果

① 感染後3日後の肺ウイルス量

蒸留水を投与したマウスの肺ウイルス量	140×10 ³ 個/100mg
グルメアクションを10mg投与したマウスの肺ウイルス量	31×10 ³ 個/100mg (78%減)

② 感染14日後の気管支内の中和抗体量

蒸留水を投与してマウスの気管支内の中和抗体	40 (SD)
グルメアクションを10mg投与したマウスの中和抗体	120 (SD) (300%増)

③ 感染14日後の血清中の中和抗体量

蒸留水を投与してマウスの血清中の中和抗体	3800 (SD)
グルメアクションを10mg投与したマウスの中和抗体	6500 (SD) (171%増)

鳥インフルエンザ活性について

グルメアクションによる鳥インフルエンザの期待される効果

循環型農業・畜産はグルメアクション配合飼料による免疫力活性から！

グルメアクション

餌1.0tに対して3kgの配合飼料を添加する。

餌に0.3%混ぜる

良質な畜産物生産



良質な餌

良質な水
(高濃度水素酸素ナノバブル水)

グルメアクションの期待される効果

1. 鳥インフルエンザ蔓延防止
2. 飼育中の死亡率激減
通常の1/3～1/10
3. 飼育期間の短縮 1～2割
鶏卵産卵期間の延長 1～2割
4. 肉質の向上 高品質率の向上
5. 糞尿公害、住民のクレーム低減

良質な糞

悪臭の少ない糞

カロリーの高い
有機肥料の原料

良質な肥料

完全発酵肥料
糞尿公害低減

良質な農産物

良質な食物残渣

無農薬、栄養豊かな食物残渣

完全発酵有機肥料による、
収穫量増加、無農薬野菜